



## はじめに

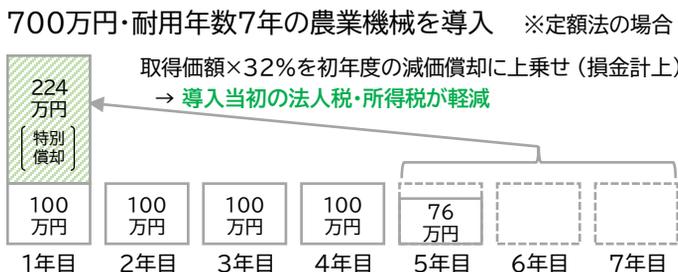
みどり認定が全国で本格的に始まり、1年が経ちました。みどり認定を受けた生産者は3月末で4,000名を超える見込みです。これは、都道府県や市町村のご担当者が尽力され、生産者の方にも制度の主旨とメリットをご理解いただいたおかげです。ありがとうございます。みどりの食料システム戦略グループとしても、引き続きメリット措置の拡充を図り、みどり認定を推進してまいります。

今回はみどり認定のメリットである『みどり投資促進税制』をご紹介します。

### みどりの投資促進税制とは

みどり認定を受けた計画に従って化学肥料・化学農薬の使用低減に必要な設備を導入した場合、通常の減価償却額に一定の金額を上乗せして償却(特別償却)できる制度です。この度、令和8年3月31日まで2年間の税制延長の方針が決まりました。

#### 【特別償却のイメージ】



みどり投資促進税制を受ける場合、まずはみどり認定を受けてください！

## 1 各地のみどり認定の事例（テーマ：みどり投資促進税制）

### (1)茨城県筑西市 渡辺 雅彦氏(オフセットモアを導入)

茨城県筑西市で水稻・麦を栽培する渡辺さんは牛ふん・鶏ふん堆肥を投入し、化学肥料の使用低減に取り組むとともに、水稻種子の温湯消毒や、オフセットモア（みどり投資促進税制対象）の導入による水田周辺の効率的な除草により、農薬の使用低減に取り組みます。認定取得のきっかけは、「業者からみどり投資促進税制について紹介され、以前から購入を考えていたオフセットモアが入っていたこと」であり、この機械を使うことで除草剤の使用を減らすことができるため、みどり認定を受けたとのこと。

### みどり投資促進税制のココがいい！①

みどり投資促進税制対象機械は全部で75機種あり(令和6年3月時点)、様々な機種を取り揃えている中でオフセットモアも対象になっています！  
対象機械は随時増えているので要チェックです。

みどり投資促進税制の対象機械はこちら



#### 【みどり認定 計画イメージ】

#### 計画申請時 (R6) → 目標 (R11)

##### (土づくり)

- ・毎年土壌診断の実施
- ・牛ふん及び鶏ふん堆肥の投入



0.5t/10a → 1t/10a

##### (化学肥料の使用減少)

- ・堆肥と肥料の併用による化学肥料の使用低減
- ・側条施肥田植機の利用による化学肥料の低減



6 kgN/10a → 3.6kgN/10a  
(慣行：6.4kgN/10a)

##### (化学農薬の使用減少)

- ・水稻種子の温湯消毒による化学農薬の使用低減
- ・オフセットモア除草による化学農薬の使用低減



8回 → 5回  
(慣行：17回)

環境負荷低減事業活動の取組面積

8 ha → 12.5ha



オフセットモア  
(みどり投資促進税制対象)

## (2) 秋田県大仙市 農事組合法人あきた皆別当 (可変施肥田植機を導入)

秋田県大仙市で、水稻を栽培するあきた皆別当 (耕地面積40ha)は、慣行栽培で米を生産していましたが、近年の環境に配慮した消費行動の動向を踏まえ、環境負荷低減の取組を始め、20haまで拡大する計画です。土壌分析結果に基づく牛ふん堆肥の施用等による土づくりやドローンのセンシングデータに基づき適正な施肥を行い、化学肥料の使用低減に取り組みます。環境に優しい農業に興味があり、地域内で生産される牛ふん堆肥と可変施肥田植機の活用で化学肥料の削減ができないか考えていました。みどり認定を受けたことで、みどり投資促進税制の活用もでき、設備投資資金にも充てることができたので助かっています。

【計画イメージ】	現状 (R5) → 目標 (R10)	
<b>(土づくり)</b> ・稲わらのすき込み、牛糞堆肥の施用	堆肥	0kg → 500kg/10a
<b>(化学肥料の低減)</b> ・土壌診断やドローンセンシングデータに基づく適正施肥	化学肥料	窒素11kg/10a → 窒素8kg/10a (慣行：窒素8kg/10a ※) ※みどり認定の基準は都道府県により異なります。
<b>(化学農薬の低減)</b> ・病害虫防除所の予察情報に基づく必要最小限の防除 ・温湯消毒種子の使用	化学農薬	使用回数：15回 → 10回 (慣行：20回)
環境負荷低減事業活動の取組面積	0ha	→ 20ha



可変施肥田植機  
(みどり投資促進税制対象)

### 💡 みどり投資促進税制のココがいい！②

特別償却の活用により、  
 ・導入当初の税負担軽減によるキャッシュフローの改善  
 ・償却費用の前倒しによる投下資金の早期回収 などの効果が期待できます！

## (3) 岐阜県飛騨市 有限会社エイドスタッフ(食味・収量センサー付きコンバインを導入)

岐阜県飛騨市において、約40haで水稻・大豆・小麦・えごま等を栽培する有限会社エイドスタッフは、水稻栽培において、食味・収量センサー付きコンバイン (みどり投資促進税制対象) を導入し、得られたデータを元にしながらGPSブロードキャストで局所・可変施肥をするなど、化学肥料の使用低減に取り組んでいます。

(有)エイドスタッフは圃場整備により区画が拡大され、既存所有機械では労力や作業効率の改善が図れず、令和5年度スマート農業実証プロジェクトへ参画しました。新規にコンバイン等を導入するため、税負担の軽減ができないかを飛騨市に相談したところ「みどり投資促進税制」の活用を勧められたことがみどり認定を受けるきっかけでした。みどり投資促進税制については、「約1,500万円のコンバインという高額な投資であるため、初年度の税負担が抑えられ、資金繰りの面で助かり安定的な経営が望める」といった使い勝手の良さを感じています。

### 💡 みどり投資促進税制のココがいい！③

委託事業等の圧縮記帳ができない予算事業においては、資金繰りのメリットが大きいです！

【みどり認定 計画イメージ】	計画申請時 (R5) → 目標 (R10)	
<b>(土づくり)</b> ・豚ふんベレット堆肥の散布 (5月) ・食味・収量コンバインにより10mメッシュで収量・食味値のデータを収集し、その結果をもとにGPSブロードキャストで散布量を調整し、生育ムラを減らす。	堆肥	0 t/10a → 0.4 t/10a
<b>(化学肥料の使用減少)</b> ・豚ふんベレット堆肥利用による化学肥料の低減 ・生育診断データをもとに散布用ドローンによるスポット追肥	化学肥料	7.4kg/10a → 4.8 kg/10a (慣行) 7.4kg/10a
<b>(化学農薬の使用減少)</b> ・生育診断データをもとに散布用ドローンによるスポット散布	化学農薬	255g/10a → 235g/10a (慣行) 成分換算量255g/10a
環境負荷低減事業活動の取組面積	20ha	→ 20ha



食味収量コンバイン  
(みどり投資促進税制対象)



スマート実証に参画し、生産性向上と環境負荷低減に取り組む。



## (4)説明会・研修会などに講師を派遣します！

みどりの食料システム戦略や認定制度、クロスコンプライアンス等について、農林水産省みどり担当が御説明します。J-クレジット制度や「見える化」の取組も含め、御要望がありましたら、お近くの地方農政局のみどり担当窓口までお気軽にご相談ください。

### 【最近の主な周知活動】

3/5～8 【東京都】みどりの食料システムEXPO

3/14 【栃木県】さくら市講演（山本）

3/21 【大阪府】クロスコンプライアンス導入に関する説明会（表谷）

### 【本省みどりの食料システム戦略グループの若手職員の取組】

3/5～8に東京ビックサイトでみどりの食料システムEXPOが行われ、本省みどりの食料システム戦略グループでは若手職員がブース対応を行いました。ブースでは、みどり認定・環境負荷低減の「見える化」・J-クレジット制度について来場者の方に説明しました。



メーカー・行政等から色々な質問を受けました。



環境負荷低減の「見える化」マークも展示しました。

## ◇御意見・御感想等をお寄せください◇

本メルマガに関する御意見・御感想や取り上げてほしいテーマのほか、御自身の所属する都道府県・市町村の取組（300字程度）を掲載してほしい！といった声もお待ちしております。以下のメールアドレスまでお寄せください。

メールアドレス：midorihou\_kankyo\_bio@maff.go.jp

### 【発行】

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1

農林水産省大臣官房みどりの食料システム戦略グループ

（担当：藤田、中山）

TEL：03-6744-7186



みどり認定の最新情報をお届け！「みどり通信」

